

取扱説明書

保護プラグ型式 VAL-MS「 」 ST ベースエレメント型式 VAL-MS-BE VAL-MS-BE/FM

はじめに

このたびは昭電製品をお買いあげくださりましてありがとうございます。この取扱説明書は、この製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。また、お読みになった後もこの説明書は大切に保管してください。

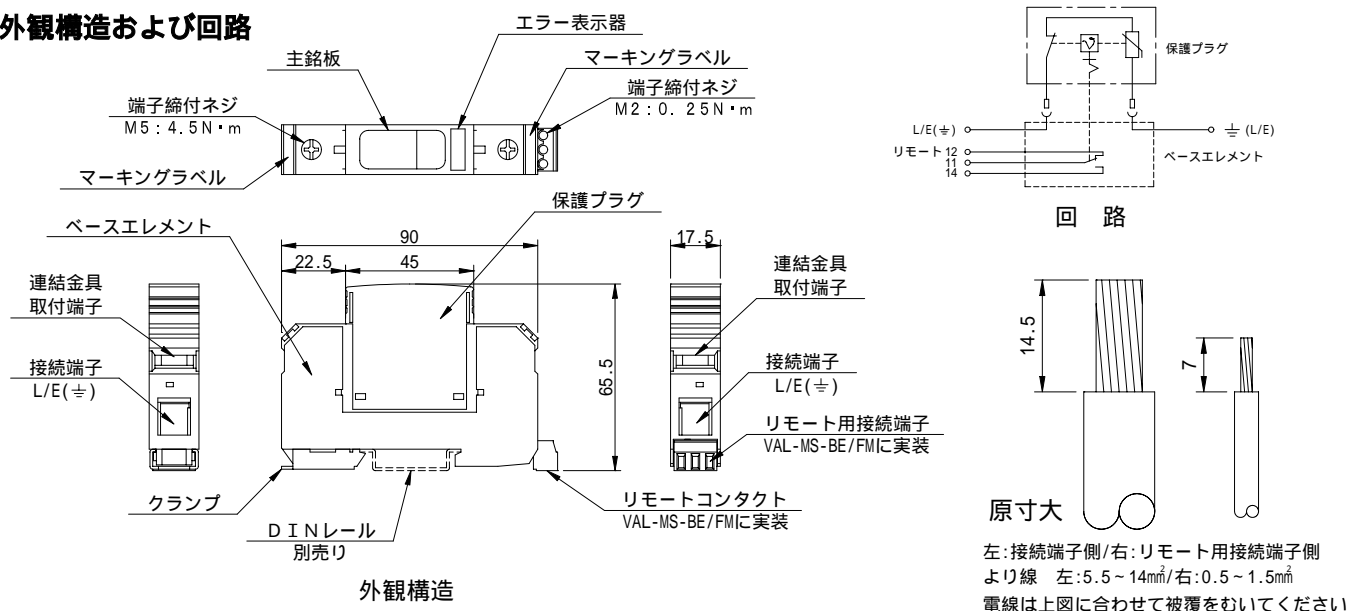
特長

- 本避雷器は分電盤の電源幹線に使用し、IEC試験クラス「 」に準拠した製品です。
- 低圧電源線と接地線の間に実装することで、電源線に侵入する雷サージから低圧機器を保護します。保護プラグが脱着可能です。
- 避雷器の状態を表示するエラー表示器付きです。
- VAL-MS-BE/FM型ベースエレメントは避雷器が障害を受けたことを遠隔で確認できるリモートコンタクト付きです。

仕様

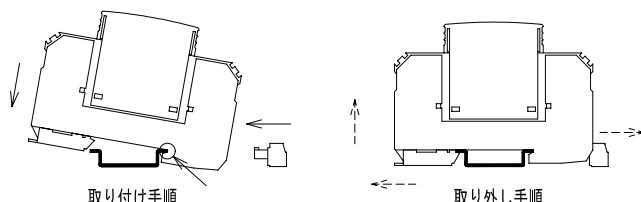
項目	仕様					
型式	VAL-MS	VAL-MS	VAL-MS	VAL-MS	VAL-MS	VAL-MS
	60ST	120ST	230 ST	320 ST	400 ST	500 ST
電圧保護レベル U_p (制限電圧)	500V以下	800V以下	1.35kV以	1.6kV以下	2.2kV以下	2.8kV以下
定格電圧 U_N	AC60V/DC80V	AC 120V	AC 230V	AC 277V	AC 400V	AC 500V
最大連続使用電圧 (不動作電圧最大値) U_c	AC75V/DC100V	AC 150V	AC 275V	AC 335V	AC 440V	AC 600V
定格周波数	50 / 60 Hz					
使用環境温度	- 40 ~ + 80					
放電サージ電流耐量 I_n (8 / 20 μ s)	15 kA	20 kA				15 kA
推奨電線 接続端子 / リモート端子	より線 (IV又はWL1) : 5.5 ~ 14 mm ² / 0.5 ~ 1.5 mm ²					
むき線長さ 接続端子 / リモート端子	14.5 mm / 7 mm					
端子サイズ 接続端子 / リモート端子	M5 / M2					
締め付トルク 接続端子 / リモート端子	4.5 N・m / 0.25 N・m					
取付方法	DINレール (35 mm幅) 【別売り】					
オプション品 (連結金具)	EJ-35/VAL-nP (n連結用) n = 2, 3, 5					

外観構造および回路

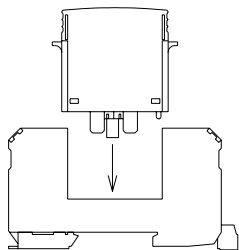


取り付け、取り外し方法

- 取り付け手順
- ①クランプの逆側をDINレールに差し込む
 - ②カチッと音がするまで押し下げる
 - ③リモートコンタクトを差し込む
- > 取り外し手順
- ④リモートコンタクトを引き抜く
 - ⑤クランプを外側に引く
 - ⑥⑤の状態のまま上に持ち上げる



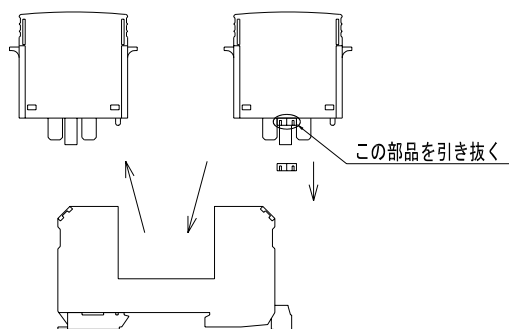
保護プラグ取付方法



初めてベースエレメントを使用するときは
保護プラグをそのまま差し込む
保護プラグは一方にしか差し込めません

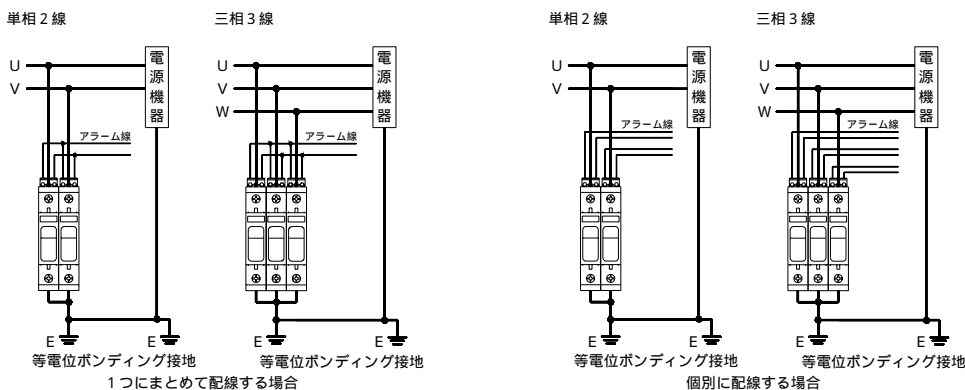
保護プラグの交換方法

- ① 雷害を受けた保護プラグを引き抜く
- ② 新しい保護プラグの差込側にある赤い部品を引き抜く
- ③ 新しい保護プラグをベースエレメントに差し込む



接続例

単相に使用する場合は2個、三相に使用する場合は3個使用してください。
各相および接地から避雷器への配線は適用範囲内の電線を使用してください。
避雷器間の連結（接地側）は専用の連結金具を使用してください。
保護対象の電源機器と避雷器の接地線は接続してください。（等電位ボンディング接地）
リモートコンタクトからの配線の一つにまとめる場合は、リモートコンタクト間で接続するか中継用の端子などを使用してください。
個別に配線する場合はそのまま警報出力設備（機器）に接続してください。



▲ 注意

ここに書かれた注意事項は、人や機器への危害や障害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

【取付上の注意】

- 避雷器を取り付ける場合は下記の注意事項を必ずお守りください。
- 避雷器の取り付けは有電気資格者が行ってください。
- 端子締付ネジは規定トルク値で確実に締め付けてください。

【使用上の注意事項】

- 最大連続使用電圧以上の電圧回路に使用しないでください。故障の原因になります。
- 通電中に端子締付ネジや接続端子に触れないでください。感電事故の原因になります。
- 雷害により避雷器のエラー表示器が赤く表示したり破損した場合は、ベースエレメントから保護プラグを取り外し、新しい保護プラグと交換するか販売店へ連絡してください。
- また、交換の際は必ず同じ型式の保護プラグをお選び下さい。違う型式の保護プラグはベースエレメントに入らない構造となっております。
- 分解や改造をしないでください。故障やけがの原因になります。分解や改造を行った場合の事故やケガについては一切責任を負いかねます。

株式会社 昭 電

ホームページ	http://www.sdn.co.jp		
本社	〒130-8540	東京都墨田区太平4丁目3番8号	SDビル
テクノセンタ	〒263-0002	千葉県稲毛区山王町365番地	
北海道支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西7丁目1番地	4ファミリービル
東北支店	〒980-0803	仙台市青葉区国分寺1丁目7番18号	明治生命仙台国分町ビル
名古屋支店	〒461-0004	名古屋市東区葵3丁目23番3号	第14オーシャンビル
北陸支店	〒930-0083	富山市総曲輪1丁目7番15号	日本生命富山総曲輪ビル
大阪支店	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋3丁目4番10号	淀屋橋センタービル
中国支店	〒730-0051	広島市中区大手町3丁目7番2号	あいおい損保広島ビル
四国支店	〒760-0033	高松市丸ノ内10番1号	大和生命高松ビル
九州支店	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号	電気ビル
沖縄支店	〒900-0015	那覇市久茂地1丁目2番25号	G7ビル
工場		千葉県・成田・松本・大阪	

03(5819)8811
043(422)2111
011(271)6701
022(222)1401
052(936)3311
076(431)2011
06(6202)2121
082(246)5711
087(821)9231
092(731)0373
098(869)0215